



紫式部  
むらさきしきぶ 57

### めぐりあいて

みしやそれとも、  
わかぬまに、  
くもがくれにし、  
よわのつきかな  
一枚

「みかの」27の曾孫  
一条天皇の彰子に  
仕える源氏物語作  
くもかくれ  
にしよはの  
つきかな

藤原敏行朝臣  
ふじわらのとしゆきあそん 18

### すみのえの

きしによるなみ、  
よるさえや、  
ゆめの、かよいじ、  
ひとめよくらん  
一枚

907年頃亡、  
能書家、「ちは」  
「業平」と相婿、  
ゆめのかよ  
ひちひとめ  
よくらむ



寂蓮法師  
じやくれんほうし 87

### むらむめの

つゆもまだひぬ、  
まきのはに、  
きり、たちのぼる、  
あきのゆーぐれ  
一枚

1139-1202、藤原定  
長、新古今集選、  
定家の叔父の子、  
きりたちの  
ぼるあきの  
ゆふくれ

### ほととぎす

なきつるかたを、  
ながむれ、ば、  
ただ、ありあけの、  
つきぞのこ、れる  
一枚

1139-1191、  
藤原実定、  
定家の叔母の子、  
たたありあ  
けのつきそ  
のこれる

後徳大寺左大臣  
ごとくだいじのさだいじん 81



良暹法師  
りょうぜんほうし 70

### てびしきこ

やどをたちいでて、  
ながむれ、ば、  
いずこも、おなじ、  
あきのゆーぐれ  
一枚

1050年頃、後冷泉  
天皇時代の歌人  
いつこもお  
なしあきの  
ゆふくれ

文屋康秀  
ぶんやのやすひで 22

### ふくからに

あきのくさきの、  
しおるれ、ば、  
むべ、やまかぜを、  
あらしとゆーらん  
一枚

800年代の歌人、是  
貞親王(5の子)家の  
歌合出詠、六歌仙  
むへやまか  
せをあらし  
といふらむ



相模  
さがみ 65

### うらみわび

ほさぬそでだに、  
あるもの、を、  
こいに、くちなん、  
なこそおし、けれ  
二枚

998年頃誕  
1051、後冷泉天  
皇内裏歌合わせ  
こひにくち  
なむなこそ  
をしけれ

源俊頼朝臣  
みなもとのとしよりあそん 74

### うかりける

ひとをはつせの、  
やまおろし、  
はげしかれ、とは、  
いのらぬ、ものを  
二枚

1055-1129  
「ゆ」71、経信  
の子、金葉集選  
はげしかれ  
とはいのら  
ぬものを



崇徳院  
すとくいん 77

### せをはやみ

いわにせかるる、  
たきがわの、  
われても、すえに、  
あわんとぞ、おも  
一枚

1119-1164、75代  
1151、詞花集勅、  
1156、讃岐配流  
われてもす  
ゑにあはむ  
とそおもふ

平兼盛  
たいらのかねもり  
40

### しのぶれど

いろにいでにけり、  
わがこい、わ、  
ものや、おもと、  
ひとのとー、まで  
二枚

ものやおも  
ふとひとの  
とふまで

990 没、光孝天皇  
玄孫、960 天徳四  
年歌合出詠

大江千里  
おおえのちさと  
23

### つきみれば

ちぢにものごそ、  
かなしけ、れ、  
わがみ、ひとつ、の、  
あきにはあら、ねど  
二枚

わかみひと  
つのおきに  
はあらねと

900 年前後の歌人  
阿保親王(平城)の孫、  
16.17の甥、漢学者

天皇家  
陽成院  
ようぜい いん  
13

### つくばねの

みねよりおつる、  
みな、の、がわ、  
こいぞ、つもりて、  
ふちとなり、ぬる  
二枚

こひそつも  
りてふちと  
なりぬる

868-949, 57 代、17  
歳で乱行により退  
位、上皇を65年間  
在位後82歳で崩御

僧侶  
大僧正行尊  
だいそうじようぎようそん  
66

### もろとも

あわれとおもえ、  
やまざく、ら、  
はなより、ほかに、  
しるひと、なし  
二枚

はなよりほ  
かにしるひ  
ともなし

1055-1135, 「くろ  
に」67の東宮を辞退  
した小一条の子  
鳥羽の護持僧

順徳院  
じゅんとく いん  
100

### ももしきや

ふるきのきばの、  
しのぶに、も、  
なお、あまりある、  
むかしなり、けり  
二枚

なほあまり  
あるむかし  
なりけり

1197-1242  
「うゝも」99の子  
1221 佐渡配流

天皇家  
文屋朝康  
ぶんやのあさやす  
37

### しらつゆに

かぜのふきしく、  
あきの、は、  
つらぬき、とめぬ、  
たまぞちり、ける  
二枚

つらぬきと  
めぬたまそ  
ちりける

900 年前後の歌人  
是貞親王(5の子)  
家の歌合出詠  
「ふ」22 康秀の子

女性  
伊勢大輔  
いせのたいふ  
61

### いにしへの

ならのみやこの、  
やえざく、ら、  
きよ、このえに、  
においぬる、かな  
三枚

けふこの  
へにほひ  
ぬるかな

1060 年以降(70 数  
歳)没「みかき」49  
の孫、57 紫式部と  
の逸話

會禰好忠  
そねのよしただ  
46

### ゆらのとを

わたるふなびと  
かじを、たえ、  
ゆくえも、しらぬ、  
こいのみち、かな  
二枚

ゆくへもし  
らぬこひの  
みちかな

900 年前後の歌人  
円融、花山、一条天  
皇の時代の偏屈者

大納言経信  
だいなごんつねのぶ  
71

### ゆうされば

かどたのいなば、  
おとづれ、て、  
あしの、まろやに、  
あきかぜぞ、ふく  
二枚

あしのまろ  
やにあきか  
せそふく

1016-1097  
宇多源氏、65 の公  
任同様の三船の才

在原業平朝臣 17  
ありわらのなりひらあそん

# ちは

やぶる -  
かみよもきかず -  
たつた - がわ  
からくれないに -  
みずくくる - とわ

三枚

825-880, 阿保親王  
(平城)の子, 伊勢物語(陽成院)の母  
との逸話, 六歌仙

からくれない  
ゐにみつく  
くるとは

左京大夫道雅 63  
さきよのうのだいぶみちまさ

# いまわ

ただ -  
おもいたえなんと -  
ばかり - を -  
ひとづて - ならで -  
ゆ - よし - もがな

三枚

993-1054, 「わすれ」  
54の孫, 三条院 68  
の娘との恋

ひとつてな  
らでいふよ  
しもかな



素性法師 21  
そせいほうし

# いま

んと -  
いいしばかりに -  
ながつき - の -  
ありあけの - つきを -  
まちいでつる - かな

三枚

(兄は 831-914)  
「あま」12の子  
清和天皇に仕える

ありあけの  
つきをまち  
いてつるかな

紀友則 33  
きのとものり

# ひさ

かたの -  
ひかりのどけき -  
はるのひ - に -  
しづごころ - なく -  
はなのちる - らん

三枚

907 没, 「ひとわ」  
35の従兄弟,  
古今集選

しつごころ  
なくはなの  
ちるらむ

藤原基俊 75  
ふじわらのもととし

# ちぎり

おきし -  
させもがつゆを -  
いのちに - て  
あわれ - ことしの -  
あきもいぬ - めり

三枚

「うか」74のライブ  
ル, 俊成 83の師

あはれこと  
しのあきも  
いぬめり

清原元輔 42  
きよはらのもとすけ

# ちぎり

きな -  
かたみにそでを -  
しほり - つつ  
すえのまつやま -  
なみこさじ - とわ

三枚

908-990,  
「なつ」36の孫  
「よを」62は娘  
951 後撰集選

すゑのまつ  
やまなみこ  
さしとは

後京極摂政前太政大臣 91  
ごきようごくせつししよう  
さきのだいじようだいじん

# きり

ぎりす -  
なくやしもよの -  
さむしろ - に -  
ころも - かたしき -  
ひとりかも - ねん

三枚

1169-1206, 藤原良  
経, 新古今集選,  
「わた」76の孫

ころもかた  
しきひとり  
かもねむ

天皇家  
後鳥羽院 99  
ごとばいん

# ひと

もおし -  
ひともうらめし -  
あぢきな - く -  
よを - おも - ゆえに -  
ものおも - みわ

三枚

1180-1239  
1205 新古今集  
1221 承久の変  
隠岐配流

よをおもふ  
ゆゑにもの  
おもふみは

紀貫之 35  
きのつらゆき

# ひと

わいさ -  
ごころもしらず -  
ふるさと - わ -  
はなぞ - むかしの -  
かににおい - ける

三枚

868-945, 土佐日  
記, 古今集選者の  
長, 六歌仙の批評

はなそむか  
しのかにに  
ほひける



持統天皇  
じとうてんのう 2

### はるす

はるすきにけらし、  
しろたえの、  
ころもほすちよ、  
あまのかぐやま  
四枚

645-702  
「あきの」の娘、  
藤原宮、律令政治



光孝天皇  
こうこうてんのう 15

### きみがためは

ののにいでて、  
わかな一つむ、  
わがころもでに、  
ゆきわふり一つつ  
三枚

830-887、是貞親  
王の父、

### きみがためお

しからざりし、  
いのちさえ、  
ながくもがなと、  
おもいけるかな  
三枚

974年21歳で天逝  
「あわれ」の子



小野小町  
おののこまち 9

### はなの

うつりにけりな、  
いたづらに、  
わがみよにふる、  
ながめせしまに  
四枚

800年代中期、仁  
明より3朝の時  
代の歌人

入道前太政大臣  
にゅうどうさきの  
だいじょうだいじん 96

### はなさそ

あらしのにわの、  
ゆきならで、  
ふりゆくものわ、  
わがみなりけり  
四枚

1171-1244、藤原公  
経、西園寺家祖  
姉が定家の妻



周防内侍  
すおうのななし 67

### はるの

ゆめばかりなる、  
たまくらに、  
かいなくたたん、  
なこそおしけれ  
四枚

1111まで、1780  
才没、後冷泉より4  
朝に仕え定家の曾  
祖父忠家との逸話



源宗千朝臣  
みなもとのむねゆきあそん 28

### やまぞとわ

ふゆぞさびしさ、  
まさりける、  
ひとめもくさも、  
かれぬとおもえは  
四枚

800年前後、  
是忠親王(5の子)  
の子、不遇



恵慶法師  
えぎようほうし 47

### やえ

しげれるやどの、  
さびしきに、  
ひとこそみえね、  
あきはきにけり  
四枚

800年代後期、花  
山の代、源融(4郎)  
の荒涼さを詠む



赤染衛門  
あかぞめえもん 59

### やすらわで

ねなましものを、  
さよふけて、  
かたぶくまでの、  
つきをみしかな  
四枚

956-1041頃  
「しの」の娘？  
一条天皇の彰子仕  
大江匡衡の妻



俊恵法師 85  
しゅんえほうし

### よもすがら

ものおもころわ  
あけやらで  
ねやのひまさえ  
つれなかりけり  
四枚

1113年誕、「うか」  
の子、鴨長明  
〔方丈記〕は弟子  
ねやのひま  
さへつれな  
かりけり



清少納言 62  
せいしようなごん

### よおこめて

とりのそらねわ  
はかるとも  
よにおさかの  
せきわゆるさし  
四枚

「なつ」の曾孫  
「ちぎりき」の娘  
一条天皇の定子に  
仕える枕草子作  
よにあふさ  
かのせきは  
ゆるさし

### やまがわに

かぜのかけたる  
しがらみは  
ながれもあえぬ  
もみぢなりけり  
四枚

900年前後、宇  
多、醍醐の代、  
奇抜な発想  
なかれもあ  
へぬもみぢ  
なりけり

春道列樹 32  
はるみちのつらき

### かくとだに

えやわいぶきの  
さしもぐさ  
さしもしらじな  
もゆるおもいを  
四枚

998年没陸奥於  
花山、一条の代、  
9の子の行成と争  
さしもしら  
しなもゆる  
おもひを

藤原実方朝臣 51  
ふじわらのさねかたあそん

鎌倉右大臣 93  
かまくらのうだいじん

### よのなかは

つねにものがもな  
なぎさこぐ  
あまのおぶねの  
つなでかなしも  
四枚

1192-1219三  
代将軍源実朝  
あまのをふ  
ねのつなて  
かなしも

皇太后宮大夫俊成 83  
こうたいこうくうのだいぶしゅんぜい

### よのなかよ

みちこそなけれ  
おもいいる  
やまのおくにも  
しかぞなくなる  
四枚

1114-1204,97  
の父千載集選  
やまのおく  
にもかそ  
なくなる

### かぜそよぐ

ならのおがわの  
ゆいぐれは  
みそぎぞなつの  
しるしなりける  
四枚

1158-1237新古今  
集選、97定家と並  
び称される  
みそぎそな  
つのしるし  
なりける

従二位家隆 98  
じゅうにいいたか

源重之 48  
みなもとのしげゆき

### かぜおいたみ

いわうつなみの  
おのれのみ  
くだけてものを  
おもころかな  
四枚

1011没陸奥於  
清和天皇の曾孫  
不遇  
くたけても  
のをおもふ  
ころかな

中納言家持 6  
ちゅうなごんやかもち

### かささぎの

わたせるはしに  
おくしも  
しろきをみれば  
よぞふけにける  
四枚

718-785大友氏の  
氏長者  
万葉集編纂  
しろきをみ  
ればよそふ  
けにける



殷富門院太輔 90  
いんぷもんいんのたいふ

### みせばやな

おじまのあまの、  
そでだにーも、  
ぬれにぞぬれし、  
いろわかわーらず  
五枚

1200頃70歳位、  
「たま」89の実姉  
に任える  
ぬれにそぬ  
れしいろは  
かはらす

中納言兼輔 27  
ちゆうなごんかねすけ

### みかの

はらー  
わきてながるる、  
いづみーがわ、  
いつみきーとてか、  
こいしかるーらん  
五枚

877-933、「なにし」  
25と従兄弟、「め」  
57は曾孫、29や35  
のパトロン  
いつみきと  
てかこひし  
かるらむ

大中臣能宣朝臣 49  
おおなかとみのよしのぶあそん

### みかきもり

えじのたくひの、  
よるわーもえ、  
ひるはーきえつつ、  
ものをこそーおもえ  
五枚

921-991、  
951後撰集選、  
「うた」61は孫娘  
ひるはきえ  
つつものを  
こそおもへ

### こころあてに

おらばやおらん、  
はつしもーの、  
おきまどわせる、  
しらぎくのーはな  
六枚

900年前後、  
905古今集選  
おきまとは  
せるしらぎ  
くのはな

参議雅経 94  
さんぎまさつね

### みよしのの

やまのあきかぜ、  
さよふけーて、  
ふるさとーさむく、  
ころもうつーなり  
五枚

1170-1221、新古  
今集選、飛鳥井流  
(蹴鞠)の祖  
ふるさとさ  
むくころも  
うつなり

河原左大臣 14  
かわらのさだいじん

### みちのくの

しのぶもぢずり、  
たれゆえーに、  
みだれそめーにし、  
われならーなくに  
五枚

822-895、源融、嵯  
峨天皇の子、「つく」  
13の次帝を望んだ  
みたれそめ  
にしわれな  
らなくに



蟬丸 10  
せみまる

### これやこの

ゆくもかえるも、  
わかれてーわ、  
しるもーしらぬも、  
おーさかのーせき  
六枚

900年前後逢坂の  
関辺りに住んだ盲  
目の琵琶の名人  
しるもしら  
ぬもあふさ  
かのせき

菅家 24  
かんげ

### このたびわ

ぬさもとりあえず、  
たむけーやま、  
もみぢのーにしき、  
かみのまにーまに  
六枚

845-903、菅原道真、  
漢学者、宇多、醍醐  
の代、大宰府左遷  
もみぢのに  
しきかみの  
まにまに

三條院 68  
さんじょういん

### こころにも

あらでうきよに、  
ながらえーば、  
こいしかるーべき、  
よわのつきーかな  
六枚

976-1017、67代、  
道長の軀轢によ  
り退位、娘が後三  
条の母  
こひしかる  
へきよはの  
つきかな



権中納言匡房  
ごんちゆうなごんまさぶさ 7 3

# たか

さしの

おのえのさくら、  
さきに、けり、  
とやまの、かすみ、  
たたずもあら、なん  
六枚

とやまのか  
すみたたす  
もあらなむ

1041-1111, 「やす」  
59の曾孫, 漢学者,  
後冷泉より堀河ま  
で4朝に仕える

権中納言定家

ごんちゆうなごんていか 9 7

# こぬ

ひとを、

まつほのうらの、  
ゆーなぎ、に、  
やくや、もしおの、  
みもこがれ、つつ  
六枚

やくやもし  
ほのみもこ  
かれつつ

1162-1241, 「よの  
なかよ」83の子新  
古今集, 新勅撰集選

壬生忠見

みぶのただみ 4 1

# こい

すちよ、

わがなはまだき、  
たちに、けり、  
ひと、しれずこそ、  
おもいそめ、しか  
六枚

ひとしれす  
こそおもひ  
そめしか

900年半頃, 「あり  
あ」30の子, 960天  
徳四年歌合出詠

山部赤人  
やまべのあかひと 4

# たづ

のうらに、

うちいでてみれば、  
しろたえ、の、  
ふじの、たかねに、  
ゆきわふり、つつ  
六枚

ふしのたか  
ねにゆきは  
ふりつつ

聖武(701-756)の  
代「あし」55と並  
び称される歌聖

式子内親王

しよくしなしいしんのう 8 9

# たま

のおよ、

たえなばたえね、  
ながらえ、ば、  
しのふる、ことの、  
よわりもぞ、する  
六枚

しのふるこ  
とのよはり  
もそする

1201没後白河の  
娘定家との逸話

大納言公任

だいなごんきんとう 5 5

# たき

のおとわ、

たえてひさしく、  
なりぬれ、ど、  
なこそ、ながれて、  
なおきこえ、けれ  
六枚

なこそなか  
れてなほき  
こえけれ

966-1041, 「あさ  
あ」64は子, 三船  
の才三十六人選

猿丸大夫  
さるまるだゆう 5

# おく

やまに、

もみぢふみわけ、  
なくしか、の、  
こえ、きくとときぞ、  
あきはかな、しき  
七枚

こゑきくと  
きそあきは  
かなしき

「猿丸大夫集」と  
いう古歌集から  
歌人像が出来る

藤原興風

ふじわらのおきかぜ 3 4

# たれ

をかも、

しるひとにせん、  
たかさご、の、  
まつも、むかしの、  
ともなら、なくに  
六枚

まつもむか  
しのともな  
らなくに

900年前後, 最古  
の歌論書を書い  
た浜成の曾孫

中納言行平

ちゆうなごんゆきひら 1 6

# たち

わかれ、

いなばのやまの、  
みねにお、る、  
まつとし、きかば、  
いまかえり、こん  
六枚

まつとしき  
かはいまか  
へりこむ

阿保親王(平城)の子  
「ちは」10の異母兄



道因法師  
どういんほうし  
82

# おもいわび

さてもいのちは、  
あるものゝを、  
うきに、たえぬわ、  
なみだなり、けり  
七枚

1188年頃 86歳  
を超えていた。  
歌道執心大なり  
うきにたへ  
ぬはなみた  
なりけり



祐子内親王家紀伊  
ゆうしなしいしんのうけのき  
72

# おとにきく

たかしのはまの、  
あだなみ、は、  
かけじや、そでの、  
ぬれもこそ、すれ  
七枚

1102 堀河院の代に  
「艶書合せ」で定家  
の祖父と対戦  
かけしやそ  
でのぬれも  
こそすれ

# おぐらやま

みねのもみぢば、  
こころあら、ば、  
いま、ひとたびの、  
みゆきまた、なん  
七枚

860-949 藤原忠平、  
氏長者、宇多上皇の  
御幸の時に詠む  
いまひとた  
ひのみゆき  
またなむ

貞信公  
ていしんこう  
26

中納言朝忠  
ちゅうなごんあさただ  
44

# おおこの

たえてし、なくば、  
なかなか、に、  
ひとをも、みをも、  
うらみざら、まし  
七枚

910-966、「なにし」  
25の子、960 天徳  
四年歌合出詠  
ひとをもみ  
をもうらみ  
さらまし



前大僧正慈円  
さきのだいそうじようじえん  
95

# おおけなく

うきよのたみに、  
おお、かな、  
わが、たつそまに、  
すみぞめの、そで  
七枚

1155-1225、「わた  
ら」76の子、1220  
「愚管抄」の書  
わかたつそ  
まにすみそ  
めのそで

小式部内侍  
こしきぶのないし  
60

# おおえやま

いくののみちの、  
と、けれ、ば、  
まだ、ふみもみず、  
あまのはし、だて  
七枚

1025 没、「あらのや  
ま」56の娘、「一条天皇  
の影りに仕える、  
64 定頼との逸話  
またふみも  
みすあまの  
はしたて



右近  
うこん  
38

# わすらるる

みをばおもわず、  
ちかいて、し、  
ひとの、いのちの、  
おしくもある、かな  
七枚

900年代 43の歌  
人に対して、960 天  
徳四年歌合の歌人  
ひとのいの  
ちのをしく  
もあるかな

参議篁  
さんぎたかむら  
11

# わたのはらや

そしま、かけて、  
こぎいでぬ、と、  
ひとにわ、つげよ、  
あまのつり、ぶね  
七枚

802-852 隠岐配流 838  
ひとにはつ  
げよあまの  
つりぶね

法性寺入道前関白太政大臣  
ほつしようじのにゆうどうさきの  
かんばくだいじようだいじん  
76

# わたのはらこ

ぎいでて、みれば、  
ひさかた、の、  
くもいに、ま、こ、  
おきつしら、なみ  
七枚

1097-1164 藤原忠通  
くもるにま  
かふおきつ  
しらなみ

女性

二條院讃岐 92  
にじょういんのさぬき

### わがそ

でおひにみえぬ、  
おきのいし、の、  
ひとこそ、しらね、  
かわくまも、なし  
七枚

ひとこそし  
らねかはく  
まもなし

1141-1217頃、二条天皇、  
後鳥羽中宮に仕える「沖の石の讃岐」

僧侶

喜撰法師 8  
きせんほうし

### わがい

みやこのたつみ、  
しかぞ、すむ、  
よを、うぢやまと、  
ひとはゆ、なり  
七枚

よをうちや  
まとひとは  
いふなり

伝未詳、宇治山の僧  
六歌仙

女性

儀同三司母 54  
ぎどうさんしのはは

### わすれ

ゆくすえまでわ、  
かたけれ、ば、  
きよ、をかぎりの、  
いのちと、もがな  
七枚

けふをかき  
りのいのち  
ともかな

996没、円融に仕え、  
「いまわ」93は孫、  
一条の中宮定子の母

女性

皇嘉門院別当 88  
こうかもんいんべつとう

### なにわえの

あしのかりねの、  
ひとよ、ゆえ、  
みを、つくしてや、  
こいわたる、べき  
八枚

みをつくし  
てやこひわ  
たるへき

1100年代後半、  
崇徳天皇皇子仕える

女性

伊勢 いせ 19

### なにわがた

みじかきあしの、  
ふしのま、も  
あわで、このよを、  
すぐしてよ、とや  
八枚

あはてこの  
よをすくし  
てよとや

872-938頃、宇  
多天皇の寵愛

天皇家

元良親王 20  
もとよししんのう

### わび

いまはたおなじ、  
なにわ、なる  
みを、つくしても、  
あわんとぞ、おも、  
七枚

みをつくし  
てもあはむ  
とそおもふ

890-943、「つく」13の  
子、宇多院の中宮との  
逸話

藤原清輔朝臣 84  
ふじわらのきよすけあそん

### ながらえ

またこのごろや、  
しのばれ、ん、  
うしと、みしよぞ、  
いまはこい、しき  
八枚

うしとみし  
よそいまは  
こひしき

1104-1177、「あきか」  
79の子、二条の勅の  
続詞花集、崩御の為幻

女性

待賢門院堀河 80  
たいけんもんいんほりかわ

### ながからん

こころもしらず、  
くろかみ、の、  
みだれて、けさわ、  
ものをこそ、おもえ  
八枚

みたれてけ  
さはものを  
こそおもへ

1100年代前半、「せ」  
77の中宮璋子に仕え  
る西行との掛け合い

三条右大臣 25  
さんじょうのうだいじん

### なにし

おーさかやまの、  
さねかず、ら、  
ひとに、しられで、  
くるよし、もがな  
八枚

ひとにしら  
れでくるよ  
しもかな

873-932藤原定  
方、姉が宇多の  
女御、甥が醍醐

清原深養父 36  
きよはらのふかやぶ

# なつ

900 年前後、「ちぎり  
き」42 は孫「よお」62  
は曾孫。「みかの」27  
邸に出入り

まだよいながら、  
あけぬるを、  
くもの、いづこに、  
つきやどるらん  
八枚

くものいつ  
こにつきや  
とらむ



西行法師 86  
さいぎようほうし

# なげけ

1118-1190,  
佐藤義清北面の武  
士、23歳で出家

つきやわものを、  
おもわする、  
かこちがおなる、  
わがなみだかな  
八枚

かこちかほ  
なるわかな  
みたかな



右大将道綱母 53  
うだいしようみちつなのはは

# なげき

937-995, 兼家の妻  
蜻蛉日記作  
更科日記の作者は姪

ひとりぬるよの、  
あくるまわ、  
いかにひさしき、  
ものとかわしる  
八枚

いかにひさ  
しきものと  
かはしる

能因法師 69  
のういんほうし

# あらし

988-1058 頃 26 歳  
の時に出家、逸話  
の多い人

みむろのやまの、  
もみぢばわ、  
たつたのかわの、  
にしきなりけり  
十六枚

たつたのか  
はのにしき  
なりけり

天皇家  
天智天皇 1  
てんぢてんのう

# あきの

626-671, 「はるす」2  
は娘、大化の改新、万  
葉集で大和三山を詠

かりおのいおの、  
とまをあらみ、  
わがころもでわ、  
つゆにぬれつつ  
十六枚

わかころも  
てはつゆに  
ぬれつつ

謙徳公 45  
けんとくこう

# あわれ

924-972, 藤原伊尹  
後撰集 (951) 選,  
「きみは」58 は子

ゆべきひとわ、  
おもおえで、  
みのいたづらに、  
なりぬべきかな  
十六枚

みのいたつ  
らになりぬ  
へきかな

源兼昌 78  
みなものかねまさ

# あわじ

1100 年前半、宇多源  
氏、忠通家の歌合せ  
(1118) 判者は 74 & 75

かよちどりの、  
なくこえに、  
いくよねぎめぬ、  
すまのせきもり  
十六枚

いくよめさ  
めぬすまの  
せきもり



和泉式部 56  
いずみしきぶ

# あらび

979 年頃誕生、「お  
おえ」60 は娘、一条天  
皇の彰子に仕える、  
和泉式部日記

このよのほかの、  
おもいでに、  
いまひとたびの、  
おこともがな  
十六枚

いまひとた  
ひのあふこ  
ともかな

左京大夫顕輔 79  
さきようのだいぶあきすけ

# あきか

1090-1155, 「ながら」  
84 は子、詞花集選、  
六条藤家

たなびくくもの、  
たえまより、  
もれいづる、つきの、  
かげのさやけさ  
十六枚

もれいつる  
つきのかけ  
のさやけさ

壬生忠岑 30  
みぶのただみね

### ありあけの

つれなくみえし、  
わかれ・より、  
あかつき・ばかり、  
うきものわ・なし  
十六枚

900年前後  
「二」は子  
古今集(905)選

安倍仲麻呂 7  
あべのなかもろ

### あまの

ふりさけみれば、  
かすが・なる、  
みかさの・やまに、  
いでしつき・かも  
十六枚

698-770、遣唐使、吉備  
真備と同行(717)鑑  
真来日(753)仲麿の船  
は難破

僧正遍昭 12  
そうじようへんじよう

### あまつ

くものかよいち、  
ふきとじ・よ、  
おとめの・すがた、  
しばしとど・めん  
十六枚

816-890 桓武天皇の  
孫、仁明天皇に仕え  
る六歌仙

権中納言定頼 64  
ごんちゆうなごんさだより

### あさぼらけう

ぢの・かわぎり、  
たえだえ・に、  
あらわれ・わたる、  
せぜのあじ・るぎ  
十六枚

995-1045、「たき」は  
の子、宇治十帖の世界

坂上是則 31  
さかのうえのこれのり

### あさぼらけあ

りあけの・つきと、  
みるまで・に、  
よしのの・さとに、  
ふれるしら・ゆき  
十六枚

900年前後 宇多醍  
醐の代、蹴鞠の能手

大式三位 58  
だいにのさんみ

### ありまやま

いななささはら、  
かぜふけ・ば、  
いでそよ・ひとを、  
わすれやわ・する  
十六枚

989年頃誕生の娘  
一条天皇の彰子に  
仕える、後冷泉天皇  
の乳母

権中納言敦忠 43  
ごんちゆうなごんあつただ

### あいみての

のちのこころに、  
くらぶれ・ば、  
むかしわ・ものを、  
おもわがり・けり  
十六枚

943年38歳亡、  
母は「ち」は「17」の  
孫、琵琶の能手

柿本人麻呂 3  
かきのもとこのひとまる

### あしびきの

やまどりのおの、  
しだりおの、  
ながながし・よを、  
ひとりかも・ねん  
十六枚

持統・文武の代(687-  
707)頃、歌聖  
万葉時代最大の歌人

参議等 39  
さんぎひとし

### あさじゆりの

おののしのはら、  
しのぶれ・ど、  
あまりて・なごか、  
ひとのこい・しき  
十六枚

900年前後、朱雀  
の代、嵯峨の曾孫



僧正遍昭 12  
そうじようへんじよう



大式三位 58  
だいにのさんみ

参議等 39  
さんぎひとし

をとめのす  
かたしはし  
ととめぬ

いてそよひ  
とをわすれ  
やはする

あまりてな  
とかひとの  
こひしき

<p>あ 87 た 18 さ 57            さ 22 や 70 は 81 や 77            り 74 り 23 じ 40            り 65 り 13 じ 37            り 66 り 71            も 100 り 46            り 61            り 21            り 63            さ 17</p> <p>①</p>	<p>や 28 や 47            や 32 や 59            よ の な か よ 83 よ を 62            よ の な か は 93 よ を 85            か ぜ を 48 か を 06            か ぜ を 98 か く 51            み か き 49 み せ 90 み ち 14            み か の 27 み よ 94            り り り 29 り 24 り 10            り り り 68 り 41 り 97</p> <p>③</p>
<p>ち 42            さ 75            ひ 33            ひ 35            ひ 99            き 91            き み が た め お 50            き み が た め は 15            は る す 02 は な の 09            は る の 67 は な ら 96</p> <p>②</p>	<p>た か 73 た じ 04 た ち 16            た き 55 た ま 89 た れ 34            お お え 60 お く 05 お じ 72            お お け 95 お く 26 お も 82            お お じ 44            わ す ら 38 わ が い 08            わ す れ 54 わ が そ 92            わ た の は ら や 11            わ た の は ら じ 76 わ び 20            な に わ が 19 な が か 80</p> <p>④</p>
<p>藤原道信朝臣 52            ぶ じ わ ら の み ち の ぶ あ そ ん</p> <p>あ け ぬ れ げ -            く る る も の と わ -            し り な が - ら -            な お - じ ら め し き -            あ さ ほ ら け - かな            十六枚</p> <p>972-994、23歳で            夭逝、母は「あわ            れ」の娘</p> <p>な ほ う ら め            し き あ さ ほ            ら け かな</p>	<p>な に わ え 88 な が ら 84            な に し 25 な げ き 53            な じ 36 な げ け 86            あ わ れ 45 あ ら の 56 あ き の 01            あ わ じ 78 あ ら し 69 あ き か 79            あ ま の 07 あ り あ 30            あ ま の 12 あ り ま 58            あ さ ほ ら け あ 31 あ し 03            あ さ ほ ら け う 64 あ い 43            あ さ じ 39 あ け 52</p> <p>⑤</p>